

様式第4号（第5関係）

議長

活動結果報告書

令和2年8月1日

越前市議会

議長 三田村 輝士 殿

議員氏名 加藤 吉則



下記のとおり報告します。

日 程 令和2年8月1日(土曜日)～令和2年8月1日(土曜日)

活動先 福井県社会福祉センター

活動目的 避難所ワークショップ 参加のため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

●43名参加 主催；NPO法人まちの防災研究会

●講義1 「避難所の実態について」

By 松森氏 NPO法人まちの防災研究会代表

1 認識面の現状と課題

①現状；そう学校などの避難所に全住民が入れるはずもないのは明確なのに、「災害が起きたら避難所へ行く」と考えている人が多い。

②現状；熊本地震では、最大で18万人超えの被災者が避難所へ避難。被災地人口の約2割で、指定避難所に入りきれない人たちが車中や公園などにあふれた。

●課題；避難所に収容すべき人は、「家屋が倒壊してしまい避難所でしか身を守ることができない方や、高齢者や障がい者、けが人など、ライフラインが断絶した中では自力での生活が困難な方など」、本当に避難所にスペースが必要な方が利用する場所として避難所はある。

2 運営面の現状と課題

①現状；避難所を運営できる人材がほとんどいない 行政が何とかしてくれるという依存的考え方が強い地域も多い

②現状；具体的な運営手法がわからない 具体的な手法等の情報は比較的少なく、経験者などからの支援が必要

③現状；避難所ごとに運営主体も方法も異なっている 内閣府『避難所運営ガイドライン』では、「原則的には、被災者自らが行動し、助け合いながら避難所を運営することが望ましい」とされている。

●課題；普段から避難所の運営について協議が必要

<避難所運営の原則>

①現状；我慢するのが当たり前

●課題；尊厳のある生活への権利の理解 運営側だけでなく、入所者も含めみんなが、尊厳のある生活への権利の存在を理解し、守っていく必要がある。

3 環境面の現状と課題

<避難所の設備について>

①現状；かなり必要な設備が提供されるように

●課題；発災後の手配が多いため時間がかかる 外部からの調達が必要なものもあるが、それらの割り出しや、その手配り方法など、事前に確認をしておくことも必要

<避難所の機能について>

①現状；避難者の過密生活 国連難民キャンプの一人当たりの基準面積を 3.5 m²としている 東日本大震災では一人当たりの面積が 2 m²以下という期間が 2 か月以上続いた。

●課題；そもそも学校は生活の場ではない 学校はそもそも被災者が一定期間生活をするための建物として作られていない 災害が起きるたびに、熱い・寒い・くさい・うるさいなど、避難者は苦しい生活を強いられている。

4 衛生面の現状と課題

<衛生活動の理解について>

①現状；衛生管理の重要性の理解は進んでいる

②現状；高齢化により健康支援が必要な対象者が多い

●課題；避難者を巻き込んだ健康管理の方法

<衛生活動の実際について>

①現状；かなり清掃等はされているが完全ではない

●課題；下足・うち履き・トイレ用スリッパと履き分けが必要

②現状；トイレが屋外で臭いし暗い

●課題；室内用簡易トイレや手洗い用設備の事前配備

●講義2 「関連死の発生原因と対策値は」

1 熊本地震での関連誌の状況

- ・関連誌を警戒しなければならない特徴 = 高齢の既往症のある方に偏る
- ・死亡時の生活環境等区分別 発災前と同じ居場所に滞在中の場合(自宅等)39%でトップ
- ・原因区分 地震のショック、余震への恐怖による未軀体的・精神的負担 100人でトップ 避難所等生活の未軀体的・精神的負担 74人で2位 他
- ・死因区分 呼吸器系の疾患 56人でトップ 循環器系の疾患 55人で2位

2 関連し対策

- ・避難者地震による関連誌の予防策

「関連し予防策 10」～ 1. 睡眠の改善 2. 運動の維持 3. 血栓予防 4. 良質な食事 5. 体重の維持 6. 感染症の予防 7. 内服薬の継続 8. 血圧の管理 9. 禁煙の勧め 10. 口腔ケア

●講義3 「避難の問題点とは」 避難所改め

1. 認識面を改める ①避難所の目的 ～「家屋を失った人や、自宅においては危険な人など、応急的に生活する場所として避難所を必要とする人が入所する場所」
②必要としている人に ～避難所で高齢者等が安心して、最低限度の医療や救援をうけることができるようになり、精神的・肉体的負担の軽減を図れるようにしなければならない
・地区防災計画で 新たな仕組みづくりを！
2. 運営面を改める ・事前対策 1 計画を作る；普段から避難所の在り方や運営について、関係する住民・行政・医療機関・福祉関係・N P Oなどで協議しておくことが重要
・事前対策 2 運営はチームがベスト
・実行対策 1 尊厳を認め合う いろんな声を聞ける仕組みづくりを
・実行対策 2 戦略をたてる 地域内にこだわらない
・実行対策 3 福祉避難所へのステップ避難計画
・実行対策 4 避難所開設までの流れ 開設までの流れ 発災・6時間は余震警戒・施設安全確認・開設準備・受け入れ開始
レイアウトの事前決定や受付用紙などの準備を
3. 環境面を改める
・重要な生活スペース ①居住スペース ②トイレ ③救護関係 ④その他（手洗い場・食堂・子どもの居場所・洗濯場）

●実験 「体育館で実地検証」

1. 第1班 大型簡易テント設営

2. 第2班 紙管材+布による間仕切り設営 段ボール箱ベッド・簡易ベッド
3. 第3班 2m² 3.5m² 4m² 各テープで床に範囲設定
4. 衛生面を改める
 - ・事前対策1 支援が必要な人の優先エリアを
レイアウト計画 多目的ホール・体育館Aエリア・体育館Bエリア・体育館Cエリア 介護者詰所
 - ・事前対策2 ネットワークと人材確保を
 - ・実行対策 みんなで関連し対策を 超高齢者社会を考慮 みんなで我が事として

●まとめにかえて 「避難所ワークショップ」に参加して

県下各地の防災士の会会員や町内会、自主防災組織関係者などが集結した。これまでにいくつかの防災関連研修会等に参加してきたが、避難所の運営といった具体的な発災後の避難行動や被災者を誘導し守る側からの研修は多くなかった。その点、今回の研修会では、より具体的な実践的行動の在り方、指針などが理解でき大変勉強になった。

また、座学では避難そのものの現状と課題をより段階的に分析し開設があったので、具体的な例示もありとても分かりやすいものだった。住民の命をある意味預かる側の一員として、より多くの関係者に受講していただきたい内容だった。

例年、県内・市内各所で避難訓練、防災訓練は実施されているが、なかなかお決まりパターンに囚われて、中身がマンネリ化し緊張感のない「行事」と化している。これでは、いざというときにパニックになるだけで、なんら避難・災害対応には至らなくなる恐れが大きい。救援隊が到着するまで、打つ手を知らず呆然と時間が過ぎゆくのを待つのみとなることは、想像に難くない。

まずは、町内での救命・救急措置や、一時避難所での支援活動の在り方を、事前によく関係者と打合せ、日ごろから訓練しておくことが重要だ。また、備蓄品の確認(不足品、消費期限)は欠かせない。より実効性を今後身近な地域で追及し、実践していきたい。

議会においても調査を行い、関連質問や提案の方向性を持ちお互いに啓発したい、より安全で安心できるまちづくりに貢献出来たらよいと思う。また、所属委員会の更新に伴い、総務委員会に配属されたので担当委員会としてもこれらの点を追究しようと思う。

様式第4号（第5関係）

議長

活動結果報告書

令和 3年 3月 26日

越前市議会

議長 三田村 輝士 殿

議員氏名 加藤 吉則



下記のとおり報告します。

日 程 令和 3年 3月 26日(金曜日)～令和 3年 3月 26日(金曜日)

活動先 自宅

活動目的 東日本大震災10周年記念セミナー ZOOM受講参加のため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

● ?名参加 主催；一般社団法人地方行政リーダーシップ研究会

●基礎講演 「東日本大震災対応の実際と『指揮心理』」

By 徳山日出男氏 電通執行役員 元国交省次官

震災当時東北地方整備局長

1. 東日本大震災における初動対応

○改めて東日本大震災とはどのようなものであったか、各種資料にて解説

・当時の国や現地（東北地方整備局）とのやりとり、各種写真資料などで解説

・3.11 19:55 仙台災害対策室の様子

・3.11 15:15 震災直後の整備局職員に出したメモ

=全職員にマイクで指示した際の本人手持ちのメモ「被害に関する情報収集を急ぐことと併せて、情報発信について混乱しないよう窓口の一元化を指示…」

・防災ヘリからの実況動画 ~津波が平野部に押し寄せている状況、

仙台空港の冠水状況、福島原発上空からの被災状況、民家に津波が押し寄せていている状況、他多数

・3.11 23:33 テレビ会議の指示内容

国土交通大臣の了解を得て、3月12日野対応を指示した命令書

○「くしの歯」作戦

- ・第1ステップ 東北道、国道4号の縦軸ライン確保
- 第2ステップ 東北道、国道4号からの横軸ライン確保
- 第3ステップ 国道45号、6号の97%啓開（作戦終了）
道路両脇にがれきが積みあがっている写真他

○TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）

- 発災翌日に、他地方整備局から8名の先遣隊到着
- 3日目から、本省の指揮のもと職員が状況調査
- ・災害対策機械；衛星電話、衛星通信車、他災害対策車数十台

○リエゾン（災害対策現地情報連絡員）

- 発災当日より、4県へ リエゾン10名派遣
- 3/23までに、4県、31市町村へ派遣
- ピーク時はリエゾン96名の約6割が東北地整以外

2. 国土交通省が教訓として伝える「指揮心得」

○『東日本大震災の体験に基づく災害初動期指揮心得』発刊

- ・取りまとめの意図；1 経験した者にしかわからない「経験知」を関係者と共有 2 シナリオのないもつともシビアな決断を迫られる最初の一週間を乗り切る指針 3 地方整備局各クラスの「指揮官」が心得ておくべき指針

○1時間以内にとるべき行動 矢継ぎ早に支持を繰り出す時間帯

- ・リエゾン派遣人数の推移グラフにて解説

○1週間以内にとるべき後方支援 1 ロジスティックス 通信確保、職員・家族の支援、資材人員の輸送、食料確保、燃料確保

2 情報発信 記者発表、取材対応 国内外からの視察 インターネットの活用

●『備えて、いたことしか役には立たなかった 備えていただけでは、十分ではなかった。』 ・関東大震災；87%焼死 ・阪神大震災；83%圧死 ・東日本大震災；92%津波

=備え、かかる後にこれを超越せよ 熟練した職員こそ、究極の「備え」

3. 教訓を伝承するために

- 伝えたい教訓（部内向け）
- ・非常時にはスピードが肝要。 ・情報が少ない中で決断すること。覚悟の問題。
- ・往々にしてスピードは企画の弱点を補ってくれる
- ・非常時は大胆に決断すること。早く、大きく構える。
- ・広域災害では情報が少ないとろが主たる被災地。
- ・「被害あり」の情報だけでなく、「異常なし」と「情報なし」をを分けること。

- ・自分のゲームプランを持つ。内にも外にも、先制、主動、意表。
- ・シンプルで勢いのある統制を心がける。士気につながる。
- ・搶先だけでなく、後方支援（情報、ロジ、広報）が大事。・メディアへの配慮は災害対応の重要な柱。・使うところまでいけば最高。

○低頻度大災害の時代 1.一定規模の災害は防げるようになった。 2. 地域単位では、いきなり巨大災害に直面 3. 教訓や備え、組織の重要さが伝わっていない。 災害列島に生きるという自覚 知識・備えによって災害は克服できる

○過去2千年の太平洋側の巨大地震

- ・4例とも首都直下型地震と連動（10年以内）
 - ・4例中3例が倒壊・南海・東南海地震と連動（18年以内）
- ①869年；貞觀地震 M8.3～8.6 887年；仁和地震 M8.0～8.3 東海・東南海
878年；相模・武藏地震 M7.4 ②1611年；慶長三陸地震 M8.1 1605年；
慶長地震 東海・南海・東南海 1615年；江戸地震 M7 ③1896年；明治
三陸地震 M8.2～8.5 1894年；明治東京地震 M7 ④1933年；昭和三陸地
震 1944～46年；昭和南海・東南海地震 M7.9～8.0 1923年；関東大震災
M7.9

○世界における日本の自然災害のリスク

1位；バヌアツ 2位；トンガ 3位；フィリピン … 17位；日本

○風化させない」—何を、何のために

体験（悲惨さ、鎮魂・慰靈、映像 記録集、4W） 教訓（津波の特性、てんで
んこ 逃げること、後悔、生き残る工夫 学び・知識・科学、備え、リーダー

○教訓が命を救う

点在する遺構等をネットワークで結ぶ 「3.11 伝承ロード」の形成 → 多様
な方を誘う機会を創出 防災専門家・学術研究機関・修学学習・自治体関係者・
業界関係者・一般の方 など → 目標①防災力の向上（教訓の伝承） ②地域
の活性化（学びの対流）

○「鎮魂・慰靈」と「教訓・伝承」

・災害の時亡くなつた方々のことは忘れてはならない ・同時に命を守るために
教訓も伝えていかねばならない ・それは日本の歴史そのもの 1 宿命の地 2
克服の歴史 ・災害の悲惨さだけでなく、それを乗り越える知恵を伝える ・教
訓がいのちを救う 災害伝承は教訓伝承

●パネルディスカッション 「災害初期におけるリーダーの心理」

- ・コーディネーター；LGLI 代表理事 森 民夫 氏
- ・パネリスト；岩手県陸前高田市長 戸羽 太 氏

- ・ " ; 宮城県気仙沼市長 菅原 茂 氏
- ・ " ; 宮城県女川町長 須田 善明 氏

○岩手県陸前高田市長 戸羽 太 氏

- ・震災前の市街地と震災後の市街地 比較写真 説明

○宮城県女川町長 須田 善明 氏

<中継の乱れあり>

<ここまで受講>

●まとめにかえて

今回は、コロナ禍のためにZOOMでのリモート受講の形となった。主催者である。「一般社団法人 地方行政リーダーシップ研究会」の講演研修は初めてであったが、テーマに惹かれ聞き入った。途中で音声や画像などの乱れで、スムーズにいかない場面が出ていたことは残念だった。

内容的には、10年前の東日本大震災において、現地責任者として行動し指揮した生々しい体験で、たいそう中身の濃い貴重な講義だった。また、当時の民主党政権側の担当大臣などとのやりとりの場面もあり、一様に緊迫した状況がビンビン伝わってきていた。私も当時前職の職場にて、連日報道されていたことを思い出した。私の今ある立場もこの時の出来事に大きく影響受けてきている。ある意味、原点の出来事だった。

私はこのかん、何度も防災関連の講習、研修会に参加してきている。どの場でも、参加者は東日本大震災が契機となり、防災に対する意識が高揚していることが伝わってくる。「その時リーダーは？ 災害発生初期の戦い」というタイトルでなあつたが、我々議員という立場も地域ではそれぞれこのリーダー的存在になりうるものである。いつ何時来るやもしれぬ、大災害を待ち構えるのに相応しい「備え」を町内・地域・市全体で点検・確保していかねばならない。また、非常に備えた訓練もより実践的な、実効性のある内容を追究しなければならない。自主防災組織はこの時機能するのか、はなはだ疑問のあるところがあるが、改善していくことが求められている。もっと、市民とともに、防災に関する学習や訓練を繰り返し実行したい。

議会においてもBCPの具体化や、議員間で相互に学び啓発しあい、より安全で安心できるまちづくりに貢献出来たらよいと思う。所属する総務委員会が主な担当委員会なので、質疑・提案・要望などでさらなる深掘りを図っていきたい。

様式第4号（第5関係）

議長

活動結果報告書

令和2年4月29日

越前市議会

議長 三田村 輝士 殿

議員氏名 加藤 吉則



下記のとおり報告します。

日 程 令和2年4月29日(水曜日)～令和2年4月29日(水曜日)

活動先 市内一円

活動目的 「かとう活動だより第54号」発行・新聞折り込みのため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

●3月定例会 Part 2

- (1) 令和2年度一般予算 反対討論
- (2) 議会活性化委員会設置
- (3) 農林水産議員懇話会発足
- (4) 南越消防組合議会
- (5) MY政務活動費 19年度報告

以 上

かとう吉則活動だより

第54号、20年4月

の大きな危機も迫っていること
も考えなくてはならないと警
鐘をならしています。中でも、

「関西一北陸間で寸断されたこ
とのない鉄道が、3年後の新幹
線開業により、敦賀駅で利用者
全員が乗り換えという前代未聞
の事態になる恐れがある」と。

2000億円余も増えたこと
で、県内の建設費は、これまで
8000億円と

していたものが
9400億円に
なるとのこと。
人件費や資材費
の高騰、消費税
の10%への引
き上げ、東日本大震災を受けて
耐震設計基準を強化したことな
どが影響したためとしています。

以前私たちが実施した市民ア
ンケート結果では、北陸新幹線
延伸決定について・期待してい
る21.6%・急ぐ必要はない
21.6%・必要ない44.
3%・わからない+他12.
2%となつていて、期待してい
る割合は2割ちょっとしかあり
ませんでした。もっと市民が
望む事業に予算配分をすべき」
と述べました。

このような状況は、昨今の新
型コロナウィルスによる経済的
悪影響も、輪をかけてきています。
年率換算GDPもマイナ
ス幅を膨らませています。

日本共産党の佐藤正雄県会議
員の2月議会一般質問において、
「杉本知事や経済界からは、「新
幹線開業が100年に一度のチ
ヤンス」などの声が聞こえてく
るが、50年に一度

ていくことこそが重要だと考
えます。

ただ、予算案す
べてにおいて反
対ではありません。
例えは、子
ども医療費助成
を現行の中3か
ら、高3まで拡充することや、鳥
ユの設置補助など、積極的な予
算配分などは大いに評価される
ものです。

私たちも、市民の生活全般にわ
たり昨年度よりも福祉や暮らし
が向上することを念願するもの
です。市民の負担が増加した
り、生活困窮に陥る方向の配分
には、基本的に反対します。
多くの市民が望まない事業を
推し進めることには、賛同しか
ねます。」

◆ 安全で安心なまちづくり
推進会議 (3/25)

・防犯・交通安全・防災・空き
家について令和元年度の取り
組み報告、意見交換、協議など

◆ MY政務活動費 19年度報告
(R1.4月～R2.3月分)

・調査研究費	1万3950円
・研修費	9万8900円
・広報費	28万259円
・広聴費	7960円
・資料購入費	5万814円
・合計	63万5418円
・備品購入	ノートパソコン&
・作成費	17万9671円
・資料購入費	5万814円

・新型コロナウィルスが大流行し
ています。具合の悪い時は早め
の受診を心がけましょう！

■ 編集後記 ■

このたよりは「政務活動費」を使
って、編集・発行しています。



3月定例会 — Part2 —

● 令和2年度一般予算 反対討論

● ①市国民健康保険税条例の一部改正
について ②令和2年度市国民健康
保険特別会計予算 → ①②反対

● みんなの心をつなぐ手話言語条例の制定へ 賛成

◆ 加藤の反対討論

3/19

「R2年度市一般会計当初予算
に反対する立場から、討論

先の産業建設委員会で私は次
のように述べて、北陸新幹線関
連事業R2年度予算案の反対討
論を致しました。「北陸新幹
線は、金沢から敦賀まで延伸さ
せる総工事費として、当初1兆
1600億円超で計画されました。
た。その後、JR西日本社長
の記者会見にあつたように、2
260億円追加計上されました。

で、県内の建設費は、これまで
8000億円と
していたものが
9400億円に
なるとのこと。
人件費や資材費
の高騰、消費税
の10%への引
き上げ、東日本大震災を受けて
耐震設計基準を強化したことな
どが影響したためとしています。
以前私たちが実施した市民ア
ンケート結果では、北陸新幹線
延伸決定について・期待してい
る21.6%・急ぐ必要はない
21.6%・必要ない44.
3%・わからない+他12.
2%となつていて、期待してい
る割合は2割ちょっとしかあり
ませんでした。もっと市民が
望む事業に予算配分をすべき」
と述べました。

このような状況は、昨今の新
型コロナウィルスによる経済的
悪影響も、輪をかけてきています。
年率換算GDPもマイナ
ス幅を膨らませています。

日本共産党の佐藤正雄県会議
員の2月議会一般質問において、
「杉本知事や経済界からは、「新
幹線開業が100年に一度のチ
ヤンス」などの声が聞こえてく
るが、50年に一度

◆ 南越消防組合議会

(3/23)

・R2年度予算 その他



◆ 議会活性化委員会設置

(3/19)

・会派代表など7名にて。
・活動内容他は、今後協議活動
加藤も参加しています。

◆ 農林水産議員懇話会発足

(3/19)

・議員11名にて。目的；持続
的農林水産業の持続的発展を
めざす。役員選出、他。
加藤も参加しています。

* 12月定例議会映像好評配信中！

『かとう吉則活動だより』

・編集：日本共産党議員団

越前市議会議員 加藤吉則

〒915-0013 越前市宮谷町66-36-1

・TEL : 090-2373-0771

・Eメール : katokichi66366636@yahoo.co.jp



様式第4号（第5関係）

議長

活動結果報告書

令和2年5月14日

越前市議会

議長 三田村 輝士 殿

議員氏名 加藤 吉則



下記のとおり報告します。

日 程 令和2年5月14日(木曜日)～令和2年5月14日(木曜日)

活動先 市内一円

活動目的 「かとう活動だより第55号」発行・新聞折り込みのため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

●新型コロナ特集

- (1) 特別定額給付金、臨時給付金(子ども・障がい者)について
- (2) 市民からの声 寄せられた意見・要望・質問

以上

様式第4号（第5関係）

議長

活動結果報告書

令和2年5月3日

越前市議会

議長 三田村 輝士 殿

議員氏名 加藤 吉則



下記のとおり報告します。

日 程 令和 2年 5月 3日(日曜日)～令和 2年 5月 3日(日曜日)

活動先 _____

活動目的 「かとう活動だより第55号」のDM発送のため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

●発送対象者

- (1) 味真野地区内 各種団体長、町内会町（区長）、他
- (2) 味真野地区外 公民館長、自治振興会長、他

●発送数

- 60通

以上

かとう吉則活動だより

第55号 20年5月



新型コロナ特集

特別給付金 10万円 5月中に一

市民の方々からのお声

●自己防衛～マスク・消毒液入手方法

●感染者情報～具体的な情報の公開

●事業・勤務～事業持続が困難/出勤体制短縮 休業補償

を！ ●子供たちのケア(授業・健康面)を！ 等

事業・

勤務～

事業持続が困難/出勤体制短縮 休業補償

を！ ●子供たちのケア(授業・健康面)を！ 等

- 農業 70代 女性
いつまで続くのやらとても不安 マスクはどこで店行つてもない どうしようか思案
- 無職 70代 女性
学校の入学式はできるのか卒業式は簡単にしたらしいがまた、休んで家にいる時間が増えてゲームする時間が増えて困ったものだ
- 会社員 60代 男性
マスクもしかり、消毒液も手に入らない なんでも店舗Aや店舗Gでは、開店前には、開店前に列ができる10人くらいの分しか手に入らない
- 自営業 60代 女性
いつまで続くのか心配 いとくはわからないといふ
- 自営業 60代 女性
嫁さんがいて、今お腹に赤ちゃんがいる みんなマスクして気を張つている もしも感染でもしたら大変なことに早くマスクの支給をしてほしい
- 自営業 60代 男性
この市内・県内の状況はいつもなら収まるのやら 先が見えないのは本当に怖くて不安 薬の開発はどこまで進んでいるのやら 年内に早く出回るといふが
- 自営業 60代 男性
このかん、市・県などに問合せしてきた 市内で勤務 感染のことを考え



- 自営業 50代 女性
急速な拡大に危機感 営業も大変 あがつたりだ 本職の商品ではなく、マスクの生地がよく売れているとか 何とかならないのか 消費税は下げるよりも全て撤廃して！
- 農業 60代 男性
色々大変なことになってしまったが、田園では広いし「三密」はあまり考えなくていい聞いた会社勤めの人は出勤日を制限されてきたといふ
- 無職 70代 女性
この市内・県内の状況はいつになら収まるのやら 先が見えないのは本当に怖くて不安 薬の開発はどこまで進んでいるのやら 年内に早く出回るといふが
- 医療関係者
は医療関係者まで感染が拡大している 大変な事態だ



毎日数字の発表があるが、個人情報保護のこともあるのでわからぬではないが、感染者のもう少し具体的な地域も言つてほしい 防衛策を取ろうにもわからないと意識しにくくなぜ発表してくれないのでだろうか

帰宅し、家族が感染したら目も当てられない 濃厚接触者の監視はどうなつてほしい 防衛策を取ろうにもわからないと意識しにくないと手遅れになる多少お金かかっても初期の段階で手を打たないとダメ 想定内というが、発症者の周りで接触者を特定できなければ、対策が取れなくなるのではその点、県はあまい 記者会見でも、こんな時、議会はどう動いているのか 給料が下がるようないから、まったく危機感はないだろう 気楽なもんだ

各マスコミにも問い合わせたが、個別の感染ルートや感染者の接觸者まではわかつていな

ているのか公表しない マスクについても、2月に政府は6億枚とかいう数字を挙げていたが、その進捗状況はどうなのか 今まで踏み切れないので、そこまで踏み切れない実行したらお金が絡んでくるお金は出したくないのが本音では

このたよりは「政務活動費」を使って、編集・発行しています。

●無職 60代 男性
要は、政府の判断がきちんとできない 財務省に気を遣い関連予算を対策として十分に盛り込めなくなっている以前の森友・加計問題が尾を引いて、安倍さんに借りがあるとのうわさもある

コロナウイルス

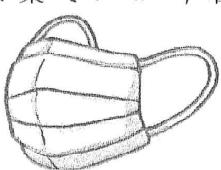
国の責任で抜本対策を



◆皆さんからのお声・このかん 寄せられたご意見・ご要望・ご質問などを紹介します

- 特別低額給付金 10万円
・5月11日 申請書郵送
・5月15日 給付開始
- 臨時給付金(第2弾)
・5月25日 支払い通知発送
・5月29日 支払い

◆特別定額給付金・臨時給付金 (子ども、障がい者)について



・会社員 0代 男性

市内で勤務 感染のことを考

えると怖い 感染を知らずに帰宅し、家族が感染したら目も当てられない 濃厚接触者の監視はどうなつてほしい 防衛策を取ろうにもわからないと意識しにくくなぜ発表してくれないのでだろうか

帰宅し、家族が感染したら目も当てられない 濃厚接触者の監視はどうなつてほしい 防衛策を取ろうにもわからないと意識しにくくなぜ発表してくれないのでだろうか

* 3月定例議会映像好評配信中！

『かとう吉則活動だより』

・編集：日本共産党議員団

越前市議会議員 加藤吉則

〒915-0013 越前市宮谷町 66-36-1

・TEL : 090-2373-0771

・Eメール : katokichi66366636@yahoo.co.jp

様式第4号（第5関係）

議長

活動結果報告書

令和 2年 5月 24日

越前市議会

議長 三田村 輝士 殿

議員氏名 加藤 吉則



下記のとおり報告します。

日 程 令和 2年 5月 8日(金曜日)～令和 2年 5月 23日(土曜日)

活動先 市内一円

活動目的 市内の医療福祉施設対象アンケート調査のため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

● 「新型コロナ関連アンケート」実施

- (1) 対象；市内福祉施設 20か所余
- (2) 集計数 ; 10件(5月24日現在)

●質問項目 [別紙アンケート用紙参照]

●感染状況についてのご所見を

Q 1. 最近(4月以降)の県内・市内の感染状況をどう観ますか?

- ①想定内 3 ②想定以上 6 ③想定不能 ④その他 1 (真実の情報なのか)

Q 2. 今後(5月以降)の県内・市内の感染状況をどう観ますか?

- ①加速して増加 ②今のペースで増加 ③横ばい 1 ④減少 4
- ⑤不明 5 ⑥その他 ()

●現在の国・県・市の感染に対する対処・措置等について

Q 3. 事業継続のための対策(支援など)が十分取られていますか?

- ①そう思う 1 ②一定評価 7 ③そう思わない 2 ④全く思わない

Q 4. A:マスク B:消毒液の確保について

- | | | | |
|-------------|---------|-----------|----------|
| A : ①十分確保 1 | ②一定確保 7 | ③在庫が少ない 2 | ④在庫が全くない |
| B : ①十分確保 1 | ②一定確保 5 | ③在庫が少ない 4 | ④在庫が全くない |

●今後の感染に対する対処・措置等の在り方について

Q 5. 個人情報保護の下で、感染者情報の報道の在り方は? (複数回答可)

-
- ①現状の報道内容でよい 1 ②状況切迫なので仕方ない 7
③もう少し具体的な情報がほしい 4 ④特にない ⑤その他 ()

Q 6. 感染の疑いがある者、希望者等のPCR検査について

- ①十分対応している ②一定対応している ③不十分な対応 5
④その他 5 (希望する者は皆受けられるように)

Q 7. 重大感染症に対する対応マニュアル(規定等)は作成してありますか?

- ①作成済み 2 ②作成途上 ③検討中 7 ○不明 1
④その他 ()

Q 8. 職員に感染が判明した場合の対応対処策は? (複数回答可)

- ①「規定」どおりに対応 4 ②自宅待機に 7 ③感染対応医療機関へ 8
④電話・メールなどで対応 2 ⑤公表する 5 ⑥公表しない
⑦その他 1 (嘱託医と相談)

Q 9. 入居者、通所者及びその家族などに感染が判明した場合の対応対処策は?
(複数回答可)

- ①「規定」どおりに対応 5 ②自宅待機に 4 ③感染対応医療機関へ 7
④電話・メールなどで対応 1 ⑤公表する 4 ⑥公表しない
⑤その他 1 (嘱託医と相談)

Q 10. 今後ご心配なことは? (複数回答可)

- ①職員・支援員確保 7 ②経費面 2 ③施設内感染 10 ④行政・関係者間の協議 1
⑤事業継続 2 ⑥その他 ()

● 総じて 国・県・市等行政、関係機関などへのご意見・ご要望など

・PCR検査がもっと簡単に早く受けられるように 結果についても

●まとめ

今回のアンケート調査は、最近落ち着きを取り戻してきた新型コロナに関して、その渦中にお尋ねした。 中で、Q 1 感染状況は「想定以上」の拡大という認識。 Q 4 のマスク・消毒液の確保については、一定確保の回答も半数を超え、備えが十分ではないことが判明。 特にQ 6 のPCR検査においては、不十分な対応が半数見られ、今後の課題が浮かび上がった。 Q 7 重大感染症に対する対応マニュアル(規定等)の作成は検討中が多数で、作成済みを大きく上回った。 Q 9 では、入所・通所者が感染した場合、公表するは半数以下に留まり個人情報の守秘義務のはざまでの対応が分かれた。 Q 10 の今後の不安な点としては、施設内感染や職員・支援員の確保に集中した。

最後の「国・県・市等行政、関係機関などへのご意見・ご要望など」では、PCR検査の体制について、現場からの切実な声と受け止められる。 今後とも、全国でも共通した課題の一つになっていくと考える。

来る6月議会にこの調査結果を反映していくつもりだ。

以 上

越前市 医療・福祉・介護施設長 各位殿

新型コロナ関連アンケート調査 ご協力のお願い

20.5.8 越前市議会議員 加藤吉則

いつもお世話になっています。

昨今のコロナ感染関連状況は日々厳しさを増してきています。

県内及び市内においても相次いで感染者が確認されてきています。

そこで、表題の件でアンケート調査をご依頼させていただきます。

なお、先般2月の「防火・防災関連アンケート調査」の集約結果を添付いたしました。ご参考にいただけたら幸いです。

今回の調査も、その集約・分析を通じ、今後の市政に活かしていきます。
ご多用中恐縮ですが、どうぞよろしくお願ひ致します！

*できましたら、5月23日までにご回答ください。同封の返信用封筒をご活用ください。 (追伸:「議会活動だより」もお目通しください)

<お尋ね項目> 以下の項目番号に○などご記入ください。

● 感染状況についてのご所見を

Q1. 最近(4月以降)の県内・市内の感染状況をどう観ますか?

- ①想定内 ②想定以上 ③想定不能 ④その他 ()

Q2. 今後(5月以降)の県内・市内の感染状況をどう観ますか?

- ①加速して増加 ②今のペースで増加 ③横ばい ④減少
⑤不明 ⑥その他 ()

● 現在の国・県・市の感染に対する対処・措置等について

Q3. 事業継続のための対策(支援など)が十分取られていますか?

- ①そう思う ②一定評価 ③そう思わない ④全く思わない

Q4. A:マスク B:消毒液 の確保について

- A: ①十分確保 ②一定確保 ③在庫が少ない ④在庫が全くない
B: ①十分確保 ②一定確保 ③在庫が少ない ④在庫が全くない

● 今後の感染に対する対処・措置等の在り方について

Q5. 個人情報保護の下で、感染者情報の報道の在り方は? (複数回答可)

- ①現状の報道内容でよい ②状況切迫なので仕方ない
③もう少し具体的な情報がほしい ④特になし

⑤その他（
）

Q6. 感染の疑いがある者、希望者等のPCR検査について

- ①十分対応している ②一定対応している ③不十分な対応
④その他（
）

Q7. 重大感染症に対する対応マニュアル(規定等)は作成してありますか?

- ①作成済み ②作成途 ③検討中 ○不明
④その他（
）

Q8. 職員に感染が判明した場合の対応対処策は? (複数回答可)

- ①「規定」どおりに対応 ②自宅待機に ③感染対応医療機関へ
④電話・メールなどで対応 ⑤公表する ⑥公表しない
⑦その他（
）

Q9. 入居者、通所者及びその家族などに感染が判明した場合の対応対処策は?
(複数回答可)

- ①「規定」どおりに対応 ②自宅待機に ③感染対応医療機関へ
④電話・メールなどで対応 ⑤公表する ⑥公表しない
⑤その他（
）

Q10. 今後ご心配なことは? (複数回答可)

- ①職員・支援員確保 ②経費面 ③施設内感染 ④行政・関係者間の協議
⑤事業継続 ⑥その他（
）

●総じて 国・県・市等行政、関係機関などへのご意見・ご要望など

*お差し支えなければ、以下ご記入ください。

- ・施設名（
）
・ご連絡先（
）

*ご協力、どうもありがとうございました!!

<ご連絡先> ・加藤携帯：090-2373-0771

様式第4号（第5関係）

議長

活動結果報告書

令和2年6月30日

越前市議会

議長 三田村 輝士 殿

議員氏名 加藤 吉則



下記のとおり報告します。

日 程 令和2年6月30日(火曜日)～令和2年6月30日(火曜日)

活動先 市内一円

活動目的 「かとう活動だより第56号」発行・新聞折り込みのため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

●コロナ議会(6月定例会) コロナ感染症対応・対策

(1) 加藤の一般質問 1.介護・感染症と防災

(2) 加藤の一般質問 2.生活困窮への救済

①生活保護 ②就学援助制度 ③生活福祉資金貸付

④市税の支払い猶予・減免

(3) 議会の対応・対策

以 上

かとう吉則活動だより 第56号 20年6月



コロナ議会(6月定例会)

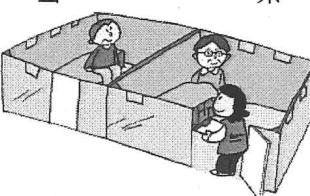
コロナ感染症対応・対策

● 福祉サービス事業所支援金 10万円
● コロナに負けない地域応援商品券

1冊1万円(千円券×12枚) 8/31まで
●緊急小口資金等の貸付 他、窓口相談受付中!
●国保疾病手当金 ●市税等の猶予措置 等

Q・発熱者や感染が疑われる避難者への対応はどのようつか?
「別途スペース」とは空き教室利用か?

A・コロナ感染症のクラスター化を避けるため、県で決めている一時生活施設や医療機関等へ誘導



Q・コロナ禍の下で、対象となる基準を前年度でなく、直近(例3月から5月)の所得にて設定してはどうか?

A・算定基準は前年度の所得だ

が、市では高3までの子育て世帯に一人当たり3万円給付の予算計上した。

Q・今回は全国的に状況が状況だけに、市内でも必要とする家庭があると考える。申請期間の延長や、年度途中での認定など前向きな検討を求める。

A・就学援助の申請は、年度当初に学校通じ受理も、個別の受付は随時。支払いは7・12・3月の各学期末に口座振込。

A・地方税法の改正に合わせ市条例を一部改正し専決処分済み。軽減・減免の拡充措置を実施している

A・低所得世帯に加え、コロナ感染拡大の影響で休業や失業により、生計維持が困難な世帯へも対象拡大。相談窓口は市社会福祉協議会。



A・国民が最低限度の文化的生活を旨む重要な憲法上の権利。まず市社会福祉協議会の生活困窮相談に来ている。諸機関の相談窓口では、生活保護の周知とともに確実に担当課につなげるようになっていいる。

Q・市税賦課徴収条例第51条の申請方法や周知方法は? A・市税賦課徴収条例第51条とどもに確実に担当課につなげるようになっていいる。

Q・「コロナ禍による影響は、減産税の減免を規定。基準以下の場合や特別な事由ある時減免。

Q・「コロナ禍による影響は、減免基準にある「災害」や「特別の事由」に該当しないのでしょうか? 世界的なコロナ感染症は「災害」ではないのか?

A・災害対策基本法で定められている。コロナ感染症はこの法律に含まれないので該当しない。

Q・単なる「猶予」という対応では追いかねない状況も想定される。市民にしつかり寄り添いながら実情を考慮し、猶予・減免措置など拡充していくことが必要ではないか?

A・地方税法の改正に合わせ市条例を一部改正し専決処分済み。軽減・減免の拡充措置を実施している

■編集後記■
このたよりは「政務活動費」を使つて、編集・発行しています。

A・市広報紙4・6月号にて特集記事を掲載。お知らせ等は市ホームページ等で随時実施する。

●議会のコロナ対応・対策

●三密対応一般質問30分、会派1名質疑15分に縮小

●夏季期末手当: 200円カット
●政務活動費: 250円カット
●傍聴人数の制限
●視察自粛

- ◆ 加藤の一般質問
- 【1】介護・感染症と防災
- ①施設における避難訓練
- Q・施設における避難訓練の実施状況の把握は?
- A・指定地域密着型サービス事業所は年2回以上避難訓練を実施し把握している。避難準備・高齢者等避難開始の発令時には速やかに避難できる態勢づくりを指導している。
- ②感染症予防対応の避難所開設
- Q・施設における避難訓練の実施状況の把握は?
- A・指定地域密着型サービス事業所は年2回以上避難訓練を実施し把握している。避難準備・高齢者等避難開始の発令時には速やかに避難できる態勢づくりを指導している。

- ①生活保護
- Q・生活保護制度の積極的利用を促すための広報に努めているが、必要との見解について、どのように考えるか?
- Q・厚労省の連絡を踏まえ、市とての具体的な対応策は?
- Q・新型コロナウイルス感染拡大の影響で休業や失業により、生計維持が困難な世帯へも対象拡大。相談窓口は市社会福祉協議会。



3つの咳エチケット
電車や職場、学びなど人が集まるところでもやろう

* 3月定例議会映像好評配信中!

『かとう吉則活動だより』

・編集: 日本共産党議員団

越前市議会議員 加藤吉則

〒915-0013 越前市宮谷町 66-36-1
TEL : 090-2373-0771
Eメール : katokichi66366636@yahoo.co.jp

● 支援特集の徹底広報

Q・新型コロナ支援特集として、臨時の案内物を作成し、全戸配布してはいるか?

様式第4号（第5関係）

議長

活動結果報告書

令和2年8月11日

越前市議会

議長 三田村 輝士 殿

議員氏名 加藤 吉則



下記のとおり報告します。

日 程 令和2年8月11日(木曜日)～令和2年8月11日(木曜日)

活動先 市内一円

活動目的 「かとう活動だより第57号」発行・新聞折り込みのため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

●組織議会(7月臨時会) 一委員会所属先決定一

●丹南病院組合議会8月定例会 一コロナ禍への対応対策一

(1) 加藤の一般質問

<コロナ禍への対応対策>

- ①感染者受け入れ状況 ②人員・敷材の確保状況 ③経営・支援面

<新型コロナ第2波に対する備えについて>

- ①検査体制の確保 ②薬剤等の開発

<加藤の主張>

- ①PCR検査遅れどうする!? ②病院経営 危機に直面
③医療機関の財政支援急げ!

●議会活性化特別委員会

●農林水産議員懇話会 他

かとう吉則活動だより 第57号 20年8月



組織議会(7月臨時会)

委員会所属先決定

●総務委員会、議会活性化委員会

●消防組合・丹南病院組合議会、他

丹南病院組合議会 8月定例会

●コロナ禍への対応対策：一般質問

●感染者受け入れ状況、財政面の変化、PCR検査

【2 新型コロナ第2波に対する備えについて】

ざるを得ない。

①検査体制の確保

Q・PCR検査・抗体検査の所見は？

ている。人工呼吸器以上が必要な患者は県立病院や赤十字病院に転院の対応をとった。課題は、一般患者とのエリア分けと看護師の担当分け。

②人員・敷材の確保状況

Q・職員確保・補充等の計画、必要資機材の整備・拡充状況はどういうか？

A・人員は特段変更はない。補充計画もない。簡易陰圧装置や空気清浄機、発熱外来用プレハブなど、国県の補助金制度を利用し拡充をしている。

③経営・支援面

Q・コロナ禍による一般患者数の推移は？

A・外来・入院とも今までの70%程度に落ち込んでいる。

Q・コロナ禍の下での財政面の状況変化と対応策は？

A・収入も大きく減少した。経費を削減することで対応。空き床補償が一部あるが、今後国の施策による財政支援を期待している。

Q・国・県・地域（個人・企業など）からの支援内容は？

A・機器設備については補助金、空き床補償に対する補償あり。個人防護具は国から定期的に送付されている。個人・企業からはマスクや飲食料等寄付の申し出をいただいていた。

Q・感染者受け入れ・回復者の推移状況は？

A・当院は第二種感染症指定病院なので受け入れを実施。性の患者（3月が延べ104名、4月が延べ104名、5月が延べ7名、7月が延べ6名）や入院が必要な方は入院を実施。接觸者外来でのPCR検査も実施し

《議会のコロナ対応・対策》

③加藤の主張

●PCR検査遅れどうする！？

検査戦略を転換し、感染が疑われる人すべてを速やかに検査することなどが求めら

●病院経営 危機に直面!!

政府は、コロナ患者を受け入

●医療機関の財政支援急げ

感染者の増加につれ、東京を

●農林水産議員懇話会

議員11名にて発足。

◆7月臨時議会（組織議会）

●新所属委員会等決定

●議論項目：有事の際の議会開催方法

（6／25）

◆議会活性化特別委員会設置

・会派代表など7名にて。

・夏季期末手当；200%カット

・政務活動費；25%カット

・傍聴人數の制限・視察自粛他

・議論項目：有事の際の議会開催方法

* 6月定例議会映像好評配信中！

『かとう吉則活動だより』

・編集：日本共産党議員団

越前市議会議員 加藤吉則

〒915-0013 越前市宮谷町 66-36-1

・TEL : 090-2373-0771

・Eメール : katokichi66366636@yahoo.co.jp



様式第4号（第5関係）

議長

活動結果報告書

令和2年9月23日

越前市議会

議長 三田村 輝士 殿

議員氏名 加藤 吉則



下記のとおり報告します。

日 程 令和2年9月23日(水曜日)～令和2年9月23日(水曜日)

活動先 市内一円

活動目的 「かとう活動だより第58号」発行・新聞折り込みのため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

●9月定例会 一般質問

(1) 加藤の一般質問

<住宅・集会場の耐震化促進について>

①代理受領制度 ②補助金額アップ ③「低コスト工法」の普及・浸透を

<通学路の安全点検について>

①危険ブロック塀の現状と対策 ②補助金活用 他

●議会活性化特別委員会

●ナイフビリッジ新工房竣工 他

かとう吉則活動だより 第58号 20年9月



る自治体に導入効果など聞き取りを行い研究していく。

Q・市の住宅耐震化の今年度の直近の実績及び、今後の取組みについてはどうか？

A・耐震診断・補強プランの補助実績は9件、耐震改修工事3件。新型コロナウイルスの影響あり周知・普及活動が充分に実施できなく、申し込みが低い。

Q・提案：その①「代理受領制度」を今後導入するという方向性を明確に打ち出すこと。そ

の②：補助金額上限も現行100万円から思い切って150万円くらいにアップを！

その③：「低コスト工法」について、設計者若しくは施工者などを対象に、学んで頂く講習会などを県と連携し開催して、浸透を図ること。

A・①坂井市など制度を実施している自治体に、導入効果等聞き取り研究していく。(2)補助金の増額については、国・県の補助が財源なので、今後国・県他市の動向を注視していく。

③耐震化の促進に向けた課題として、今後も県と連携し研究していく。

Q・代理受領制度についてどう

A・補助制度の利用促進を図る一つの手法。制度を実施してい

考えるのか？

Q・代理受領制度」「補助金の増額」「低コスト工法」導入の合

◆加藤の一般質問

【1 建築物の耐震化促進の現状と課題について】

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

市議会(9月定例会) 一般質問

— 住宅・集会場の耐震化促進 —

- ①「代理受領制度」の導入を！
- ②補助金額上限(150万円)にアップを！
- ③「低コスト工法」の普及・浸透を！

— 通学路の安全点検 —

- ◎危険ブロック塀の現状と対策 補助金活用 他

わせ技が最も効果的ではないか？ぜひ前向きに検討を！



Q・各地区公民館や自主防災組織等と事前相談・打合せはできているか？

A・公民館長会で、発熱者や体調不良者の専用スペースの利用や協力をお願いしている。自

主防災組織へは、新型コロナウイルスの収束が見通せないの

で、自治連合会と協議し全体の研修会は見送ることに。市政出

前講座等で個別に打合せ実施。

●避難所の現状と課題

Q・広域避難所の地区担当職員の訓練・研修の内容は？

A・2回実施。災害対策本部設置から避難所開設・運営までの

対応を確認した。また、コロナ禍での避

難所開設・運営や避難場所の備蓄品確認

など研修を実施し、

課題など意見交換した。



◆ナイフリッジ新工房竣工 8月21日

このたよりは「政務活動費」を使つて、編集・発行しています。

◆議会活性化特別委員会 8月28日

A・県は本年度から、国交省の事業を活用したブロック塀の安

全対策事業を創設した。市でも

危険ブロック塀所有者の意向を

確認し、補助制度創設を検討し

ていただきたい。

Q・国交省住宅局の「住宅・建物安全ストック形成事業」=交付対象事業は、地方公共団体が地域防災計画又は耐震改修

道のブロック塀等の耐震診断、

除却、改修等」

とあるが、この事業の活用は十分可能ではないか？

A・県は本年度から、国交省の

事業を活用したブロック塀の安

全対策事業を創設した。市でも

危険ブロック塀所有者の意向を

確認し、補助制度創設を検討し

ていただきたい。



【3 避難所としての機能強化を】

町内集会場の防災対策】

●加藤の主張

【4 通学路の安全点検】

危険ブロック塀の現状と対策

Q・過去3年の一覧の中にも表記されていない危険箇所の把握状況はどのようか？

A・各地区や町内会が危険と判断した場合、市に情報を提供し

●加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%
- ②耐震化向上目標として
- 代理受領制度導入を

◆加藤の一般質問

- ①木造住宅耐震化の現状と課題
- Q・市の住宅耐震化率の現状は？
- A・本年度推計数値は74.9%</

様式第4号（第5関係）

議長

活動結果報告書

令和2年11月15日

越前市議会

議長 三田村 輝士 殿

議員氏名 加藤 吉則



下記のとおり報告します。

日 程 令和2年11月15日(日曜日)～令和2年11月15日(日曜日)

活動先 市内一円

活動目的 「かとう活動だより第59号」発行・新聞折り込みのため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

●9月定例会 — 9月定例会・議会活性化特別委員会 —

◎「日本政府に核兵器禁止条約への参加・署名・批准を求める意見書」

採択賛成討論

●議会活性化特別委員会 2グループからの報告 他

●南越消防組合議会 ●農林水産議員懇話会視察

●MY政務活動費中間報告 他

かとう吉則活動だより 第59号 2020年10月

こうした抑止力論には大きな矛盾があり、解決には至らない。



市議会(9月定例会) その2 — 日本政府に核兵器禁止条約への 参加・署名・批准を求める意見書 — * 請願採択賛成討論 *

議会活性化特別委員会

・オンライン会議/議会基本条例検討グループ報告
・議会基本条例の読み合わせ&条文内容検討

◆ 核兵器関連意見書の請願
【加藤の採択賛成討論 要旨】

● 今年の夏、広島・長崎では被爆75周年にあたり、今回は新型コロナ・パンデミックのもので迎えました。：軍事力、中でも核兵器が、ウイルスとたたかう上で、何の意味ももたないということです。
いま世界の核兵器保有9カ国の核兵器予算は、年間約7兆円。これだけのお金があれば

医師・看護師など医療従事者を百万人以上増やすことができる。
軍事費、特に核兵器予算を削り、医療をはじめとするケアや暮らしに、そして途上国支援や一人ひとりの命と尊厳を守るために充てることが最重要。

● 広島市で毎年恒例の平和記念式典が8月6日行われ、松井市長は「平和宣言」を行った。新型コロナウイルスという人類への新たな脅威に対し、「自國第一主義によることなく『連帯』して立ち向かうべき」と呼びかけました。また、NPT（核兵器不拡散条約）と核兵器禁止条約は、ともに核兵器廃絶に不可欠な条約だと指摘し、「NPT再検討会議において、核兵器に頼らない安全保障体制の構築に向け、全力を尽くしていただきたい」とも：



一方、日本政府の核兵器禁止条約に対する態度を見ると、条約に参加することにより「核抑止力の正当性が損なわれる」という呪縛がいまだにある。そもそも核抑止力の本質は、いざという時には核兵器を使用するということではないか。日本政府が、ともかくも「核兵器の非人道性」を訴えるなら、

医師・看護師など医療従事者を百万人以上増やすことができる。
軍事費、特に核兵器予算を削り、医療をはじめとするケアや暮らしに、そして途上国支援や一人ひとりの命と尊厳を守るために充てることが最重要。

● 広島市で毎年恒例の平和記念式典が8月6日行われ、松井市長は「平和宣言」を行った。新型コロナウイルスという人類への新たな脅威に対し、「自國第一主義によることなく『連帯』して立ち向かうべき」と呼びかけました。また、NPT（核兵器不拡散条約）と核兵器禁止条約は、ともに核兵器廃絶に不可欠な条約だと指摘し、「NPT再検討会議において、核兵器に頼らない安全保障体制の構築に向け、全力を尽くしていただきたい」とも：

医師・看護師など医療従事者を百万人以上増やすことができる。
軍事費、特に核兵器予算を削り、医療をはじめとするケアや暮らしに、そして途上国支援や一人ひとりの命と尊厳を守るために充てることが最も重要。

● 広島市で毎年恒例の平和記念式典が8月6日行われ、松井市長は「平和宣言」を行った。新型コロナウイルスという人類への新たな脅威に対し、「自國第一主義によることなく『連帯』して立ち向かうべき」と呼びかけました。また、NPT（核兵器不拡散条約）と核兵器禁止条約は、ともに核兵器廃絶に不可欠な条約だと指摘し、「NPT再検討会議において、核兵器に頼らない安全保障体制の構築に向け、全力を尽くしていただきたい」とも：

医師・看護師など医療従事者を百万人以上増やすことができる。
軍事費、特に核兵器予算を削り、医療をはじめとするケアや暮らしに、そして途上国支援や一人ひとりの命と尊厳を守るために充てることが最も重要。

◆ 議会活性化特別委員会
《9月25日》
【オンライン会議検討グループからの報告】 加藤；H22年制定後検証作業を実施していく。深読みまでは至っていない。深読みまでは至っていない。↓まずは条例を読んでみよう！その上で課題を洗い出す。課題をもとに、条例改正向け素案作りを行う。

◆ 消防組合議会 10月7日
● R2年度補正予算・R元年度一般会計決算認定について
・消防ポンプ車取得について他

◆ 農林水産議員懇話会視察 現況下、延期・中止の方向。
前市議会では、旧武生市と旧今立町が合併した平成17年12月に、「非核平和都市宣言」を議決して、核兵器のない平和な世の中の実現をアピールしている。

◆ 新型コロナウイルスと共にインフルエンザが流行しつつあります。具合の悪い時は早めの受診を心がけましょう！

◆ MY政務活動費 中間報告

(R2・7月～9月分)

・研修費 3500円

・広報費 17万879円

・資料作成費 6万5299円

・資料購入費 1万5859円

・合計 26万1711円

◆ 編集後記

◆ 謙虚な姿勢で活動する

◆ 良識ある越前市議会の名にかけ、後世にも凛然と語ることができるよう、この場に参考されているご一同様の賛同を、心からお願いするものです。

◆ このたよりは「政務活動費」を使って編集・発行しています。

◆ これが初めての記事になります。



* 9月定例議会映像好評配信中！

『かとう吉則活動だより』

・編集：日本共産党議員団

越前市議会議員 加藤吉則

・〒915-0013 越前市宮谷町66-36-1

・TEL : 090-2373-0771

・Eメール : katokichi66366636@yahoo.co.jp

様式第4号（第5関係）

議長

活動結果報告書

令和2年12月16日

越前市議会

議長 三田村 輝士 殿

議員氏名 加藤 吉則



下記のとおり報告します。

日 程 令和2年12月16日（水曜日）～令和2年12月16日（水曜日）

活動先 市内一円

活動目的 「かとう活動だより第60号」発行・新聞折り込みのため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

●12月定例会 — 一般質問 —

1. 実効性向上した鳥獣害対策を

①防護柵設置への支援について ②クマ出没対策について

2. 地域農業の持続化むけで

①コロナ対策 農家向け持続化給付金 ②国連家族農業10年

●R1年度決算委員会全体会

●農林水産議員懇話会

●議会モニターとの意見交換会 他

かとう吉則活動だより

第60号、20年12月



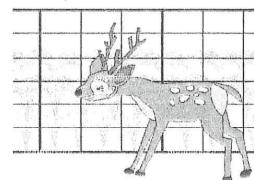
市議会(12月定例会)一般質問

- 実効性向上した鳥獣害対策を
①防護柵設置への支援について
②クマ出没対策について
- 地域農業の持続化むけて
①コロナ対策 農業者向け持続化給付金
②国連家族農業10年によせて

Q. 設置作業に対する支援を求めたいが、所見を。

A. 防護柵は、
国の鳥獣防止
総合対策交付
金を活用し支
援を実施。設

置作業は自力
施工が要件な
ので、設置作
業に係る支援は不可と県から聞
いている。



Q. これまでの防護柵施工実績の分析と今後の方針を探るうえでも、市内各地区・町内での防護柵設置個所を図示した方がよいと考える。如何か?

A. 資材の交付申請時に、設置予定位図を提出してもらい、G I S等活用し、データ化して場所変更もあるが、要望あれば提供は可能。

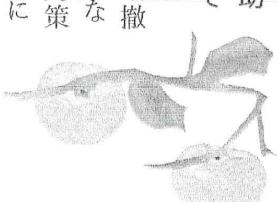
Q. ①現在のクマ対策の概要是?
また、②捕獲檻は現在何基設置されているか? 新規購入予定はあるか?

A. ①目撃、痕跡情報が入り次

第、現地に職員向い、集落などにチラシ配布や、関係各課・機関で注意喚起の広報を実施。
②檻は現在8基全て稼働。今年度の追加購入予定はない。

Q. 当市でも、柿の木の伐採など
に関し、勝山市の
ように市から助
成措置を講じてはどうか?

A. 柿の実などの撤去・伐採は重要な措置。鳥獣害対策に取り組む集落に組織支援事業を実施。その中で、集落で果樹の対



Q. ①「市鳥獣害のない里づくり推進事業」、②「市鳥獣被害防止総合対策事業」各事業の進捗状況は?

A. ①電気柵: 2/3以内。4集落
4.3km シカ用ネット柵: 5/6
以内、1集落1.4km ②イノ
シシ捕獲用柵; 22集落16.
8km、シカ用柵; 10集落5.

0 km、大規模緩衝帯6集落、
9 km

Q. 次年度に向けて、これら提供される資材の部材変更含め、改善を図つていただきたいが。
A. 設置集落から施工性が悪いとの意見を聞いていたので、来年度は良い部材に変更予定。その他改善希望があれば、隨時検証し対応する。

Q. 現在、市教育委員会のクマ出没対応・対策はどのようか?

A. クマの出没情報が入った場合、付近の幼稚園・小・中学校

に連絡、その後、緊急メールによって、保護者等に知らせている。



見守り活動を実施、頻繁な目撃情報ある地域は、市教委職員が山際をパトロール。

Q. 市としても、クマ鈴購入費などの支援を実施してはいかがか?

A. 子どもたちの通学時の安全対策の一環として、また、地域で安全に生活していく上で大切ではないか?

A. クマ出没が相次いでいる地域では、既に鈴など音が出るものをカバンにつけているため、購入の支援は考えていない。

Q. R1年度決算委員会全体会

《11月9日》

・決算審査 各分科会(総務委員会・教育厚生委員会・産業建設委員会)の審査報告

・反対討論「私たちは、市民の生活全般にわたり以前よりも福祉や暮らしが向上することを念願する。従って、多くの

市民が望まない事業を推し進め、市民の負担が増大する方向の配分には、基本的に反対。」
(討論文詳細は裏面ご参照を)

* 9月定例議会映像好評配信中!

『かとう吉則活動だより』

- 編集: 日本共産党議員団
越前市議会議員 加藤吉則
〒915-0013 越前市宮谷町 66-36-1
Tel 090-2373-0771 facebook OK
E メール: katokichi6636636@yahoo.co.jp

活動経過確認 市への第一次提言向け、農業・林業・水産業各分野で担当取りまとめる
議会活性化特別委員会

《11月18日》

・市議会基本条例の見直し・専門家の意見参考に他市の状況踏まえて検討していくことに。

◆議会モニター会議

《11月24日》

・議会モニターとの意見交換会
議会活動を幅広く知っていた
だくため、議員側からの若者や
地域の方々への積極的な情報
発信が必要です。S NSの活用
も今後課題に。

◆編集後記

《11月24日》

・新型コロナウイルスは第3波が猛威を振るっています。3密に気を付けて。具合の悪い時は早めの受診を心がけましょう!

このたよりは「政務活動費」を使つて、編集・発行しています。

3-10

議長

3-12

様式第4号（第5関係）

活動結果報告書

令和3年2月17日

越前市議会

議長 三田村 輝士 殿

議員氏名 加藤 吉則



下記のとおり報告します。

日程 令和3年2月17日(水曜日)～令和3年2月17日(水曜日)

活動先 市内一円

活動目的 「かとう活動だより第61号」発行・新聞折り込みのため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

●12月定例会 Part2

1. 実効性向上した鳥獣害対策を → 前回

①防護柵設置への支援について ②クマ出没対策について

2. 地域農業の持続化むけて → 今回

①コロナ対策 農家向け持続化給付金 ②国連家族農業10年

●請願第3号「75歳以上の医療費窓口負担2割化の検討中止を求める意見書を
国に提出する請願」の賛成討論

●農林水産議員懇話会

●新ゴミ処理施設視察 他

かとう吉則活動だより 第61号、21年1月



市議会(12月定例会)Part2

1. 実効性向上した鳥獣害対策を

①防護柵設置への支援について

②クマ出没対策について 前回

2. 地域農業の持続化むけて 今回

①コロナ対策 農業者向け持続化給付金

②国連家族農業10年によせて

いて周知徹底し、市役所内に相談窓口を設けては?

A. 市の窓口や電話などでの相談は速やかにJAに引き継ぐ等、連携しつつ対応していく。

●「国連家族農業10年」に寄せて

Q. 「国連家族農業の10年」を受け、改めて、①市の家族農業に対する基本的考え方? また、

②市として

今後の持続的農業に対する具体的方策をどのように展開していくのか?



A. 家族農業

は農業生産の多様な担い手の

一つ、農業農村が持つ多面的機能を適切に保全していくえ

で、重要な役割を担っている。

市食と農の創造ビジョンでも、

家族農業の果たす役割や重要性を認識し、家族農業を営む小

規模農業者や兼業農家の生産

性と収益の向上に向けた取組みへの支援を位置づけている。

種を給付対象としているので、

適切に制度を活用してもらいたいと考える。

Q. 今からでも、市としてもこの持続化給付金制度の活用につ

いて周知徹底し、市役所内に相談窓口を設けては?

A. 市の窓口や電話などでの相

談は速やかにJAに引き継ぐ等、連携しつつ対応していく。

求める意見書を国に提出する!」
とを求める請願】賛成討論

「12月9日、75歳以上の高齢者が医療機関で払う窓口負担の1割から2割への引き上げを

巡り、菅首相と公明党の山口代表は対象者を年収200万円以上とすることで合意しました。

所得上位30%、約370万人が該当するとのこと。高齢者の

厳しい生活にコロナ禍のもとで追い打ちをかけるものです。

●負担増が実行されれば、病気やケガをするリスクの高い75歳以上の人人が、経済的理由で受診を我慢し、病状を悪化させることになりかねません。新型コロナウイルス感染が「第3波」に突入して猛威を振るう中、高齢者が医療にかかりにくくなる負担計画をなぜ進めるのか?

●菅政権は、今回の負担増は現役世代の負担を減らすことを口実にします。しかし、年収に対する窓口負担割合でみると、7

5歳以上は40~50代の2~6倍近い負担をしているのが実態です。75歳以上は収入が少

ないので、年齢が進むにつれて複数の診療科や医療機関にかかるを得ず、受診回数も増え

るために重荷を強いるのは、必要な医療を受けることを妨げます。

●現在急拡大しているコロナ禍の下での原則2割負担化には、日本医師会からも批判が相次いでいます。「さらなる受診控え

り、高齢者に追い打ちをかけるべきでない」「現行の1割から

倍にする自体がそもそも問題だ」と。早期発見・治療の遅れで重症化すれば、逆に医療費は膨らんでしまいます。

●「負担能力に応じたものへと改革していく」というなら、

大企業や富裕層への課税強化で公費財源を確保すべきです!

●そもそも問題の根本は、かつて老人医療費で45%を占めていた国庫負担割合を35%に引き代わりさせた制度改悪にあります。この仕組みを改め、国庫負担を引き上げることが必要です!

●菅政権は、今回の負担増は現役世代の負担を減らすことを口実にします。しかし、年収に対する窓口負担割合でみると、7

5歳以上は40~50代の2~6倍近い負担をしているのが実態です。75歳以上は収入が少

ないので、年齢が進むにつれて複数の診療科や医療機関にかかるを得ず、受診回数も増え

るために重荷を強いるのは、必要な医療を受けることを妨げます。

●現在急拡大しているコロナ禍の下での原則2割負担化には、日本医師会からも批判が相次いでいます。「さらなる受診控え

り、高齢者に追い打ちをかけるべきでない」「現行の1割から

倍にする自体がそもそも問題だ」と。早期発見・治療の遅れで重症化すれば、逆に医療費は膨らんでしまいます。

●「負担能力に応じたものへと改革していく」というなら、

大企業や富裕層への課税強化で公費財源を確保すべきです!

実施しないのでしょうか? あまりに冷たい仕打ちではないでしょうか?

●そもそも問題の根本は、かつて老人医療費で45%を占めていた国庫負担割合を35%に引き代わりさせた制度改悪にあります。この仕組みを改め、国庫負担を引き上げることが必要です!

●菅政権は、今回の負担増は現役世代の負担を減らすことを口実にします。しかし、年収に対する窓口負担割合でみると、7

5歳以上は40~50代の2~6倍近い負担をしているのが実態です。75歳以上は収入が少

ないので、年齢が進むにつれて複数の診療科や医療機関にかかるを得ず、受診回数も増え

ために重荷を強いるのは、必要な医療を受けることを妨げます。

●現在急拡大しているコロナ禍の下での原則2割負担化には、日本医師会からも批判が相次いでいます。「さらなる受診控え

り、高齢者に追い打ちをかけるべきでない」「現行の1割から

倍にする自体がそもそも問題だ」と。早期発見・治療の遅れで重症化すれば、逆に医療費は膨らんでしまいます。

●「負担能力に応じたものへと改革していく」というなら、

大企業や富裕層への課税強化で公費財源を確保すべきです!

◆議会活性化委員会
『12/17』今後のスケジュール
成予定の施設内外などを協議・検討しました。

◆新ごみ処理施設視察
『12/16』
南越前町に来月完結しました。

◆農林水産議員懇話会
『12/14』
大企業や富裕層への課税強化で公費財源を確保すべきです!

* 12月定例議会映像好評配信中!

『かとう吉則活動だより』

・編集: 日本共産党議員団

越前市議会議員 加藤吉則

・〒915-0013 越前市宮谷町 66-36-1

・Tel 090-2373-0771 -facebook OK

・Eメール: katokichi66366636@yahoo.co.jp

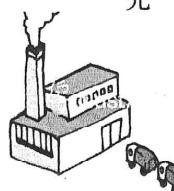


・新型コロナウイルスの第3波が猛威を振るっています。3密に気を付けて、具合の悪い時は早めの受診を心がけましょう!

◆議会活性化委員会
『12/17』今後のスケジュール
成予定の施設内外などを協議・検討しました。

◆新ごみ処理施設視察
『12/16』
南越前町に来月完結しました。

◆農林水産議員懇話会
『12/14』
大企業や富裕層への課税強化で公費財源を確保すべきです!



3-11

様式第4号（第5関係）

議長

3-12

活動結果報告書

令和3年3月19日

越前市議会

議長 三田村 輝士 殿

議員氏名 加藤 吉則



印

下記のとおり報告します。

日 程 令和3年3月19日(金曜日)～令和3年3月19日(金曜日)

活動先 市内一円

活動目的 「かとう活動だより第62号」発行・新聞折り込みのため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

●3月定例会 — 一般質問 —

1. コロナ禍での生活困窮救済

①生活困窮の現状について ②コロナ禍の中での見守り活動について

2. 生活保護申請の現状と課題

①申請の現状と要件 ②扶養照会 ③積極的広報を

●市民と議会の語る会 他

かとう吉則活動だより 第62号・21年3月

等に積極的に取り組んでもらっている効果が表れたものと考へる。



市議会(3月定例会)一般質問

1. コロナ禍での生活困窮救済
①生活困窮相談の現状
②コロナ禍の中での見守り活動
2. 生活保護申請の現状と課題
①申請の現状と要件
②扶養照会について ③積極的広報を

Q. 昨年来の

コロナ禍が
続く状況下
で、生活困

窮者への対
応対策につ
いて、工夫・
改善点は?



【生活保護申請の現状と課題】

①申請の現状と要件

Q. 昨年4月から12月において、
生活保護申請数、受給数の推移
状況の概要是?

A. 申請数は月2~5件、計2
8件。保護世帯数は、189~
194世帯。保護人員数は、2
13~220人で推移。

Q. 収入状況について、預貯金や
土地家屋、生命保険などの資産
が殆んど
ない場合、
当市では
基準とな
る額はいく
らか?



A. 最低生

活保障水
準で本市は3級地1に該当し、
家族構成や年齢により異なる。

6~8歳の高齢者単身世帯の場合
は、6万6千640円、住宅扶
助は3万円になっている。



Q. コロナ禍にもかかわらず、国

は昨年10月から
生活保護費のうち

食費や水光熱費な
どに充てる「生活扶
助」を大幅減額した
が、市単独の措置は

あるか?

A. 市単独の予算措置はない。
H30年から社会経済情勢等総
合的に勘案し段階的に実施。

Q. 「漏給」とも言われている現状
をどのように分析するか? 当
市では、資産ある方が多いとか
特別な地域事情等があるのか?
A. 新政権を侵すこと無いよ
う受け付けています。

◆ 加藤の一般質問 『3/2』

①生活困窮相談の現状

Q. R2年1月~R3年1月に
おける、新型コロナウイルス
関連の納税相談件数は?

A. 昨年4月に法改正。納税相
談件数は、昨年4月から今年1
月までに1029件。収入減を
理由とした分納相談や、個人事
業主からの申請方法など。

②コロナ禍での見守り活動

Q. ①町内福祉連絡会の開催状況
は? ②コロナ禍での見守り活
動の工夫点は?

A. ①感染防止のため、一時期
は見合わせたところが多くつ
た。コロナ禍でこそ、町内での
重要な見守り活動なので、感染
防止を講じ工夫しながら実施
してもらっている。②会議の開
催に拘らず、遠くからでも確認
できる活動。電話での近況確認
している町内もあると聞く。

A. 高齢化率が増加する中で、
認定者の認定数と率が微増して
いる状況を、どう分析するか?

A. 高齢化率が増加する中で、
さほど認定率の上昇には運動
していかず、一定の抑制が効い
ている。つどいや介護予防教室

③扶養照会について

Q. H30、R1、R2年の要介護
収入調査、扶養調査、就労調査、
家庭訪問等で、資産調査、決
定・却下の判断をする。

A. 家庭訪問等で、資産調査、
決定・却下の判断をする。

A. 高齢化率が増加する中で、
認定者の認定数と率が微増して
いる状況を、どう分析するか?

④生活保護受給決定に至るま での流れについてどんな調査を するのか? また所要日数は?

Q. H30、R1、R2年の要介護
収入調査、扶養調査、就労調査、
家庭訪問等で、資産調査、決
定・却下の判断をする。

A. 家庭訪問等で、資産調査、
決定・却下の判断をする。

A. 高齢化率が増加する中で、
認定者の認定数と率が微増して
いる状況を、どう分析するか?

A. 高齢化率が増加する中で、
認定者の認定数と率が微増して
いる状況を、どう分析するか?

* 12月定例議会映像好評配信中!

『かとう吉則活動だより』

・編集: 日本共産党議員団

越前市議会議員 加藤吉則

・〒915-0013 越前市宮谷町66-36-1
・Tel 090-2373-0771 -facebook OK
・Eメール: katokichi66366636@yahoo.co.jp

A. 生活保護は国民の最後のセ
ーフティーネットで、最低限度
の文化的生活を営む権利の行

◆市民と議会の語る会
《1/27》
△ 南中山公民館
・テーマ: 市の財政、新幹線関
連整備について

参加者の声: 「認定保育園前の除
雪を丁寧に!」「県道脇の杉の枝
ント自粛 今後の在り方」「南越
駅周辺整備延期で考える時間増
えたのは、大きなビジョンで
構想を練ってほしい」等々たく
さんいただきました。

保護開始後も一方的な打ち切り
はしないことを徹底している。

■編集後記 ■

・新型コロナウイルスワクチン接
種が徐々に始まります。しかし
油断することなく、3密に気を付
けて、具合の悪い時は早めの受診
を心がけましょう!

・このたどり、「政務活動費」を使
つて、編集・発行しています。

・このたどり、「政務活動費」を使
つて、編集・発行しています。

様式第4号（第5関係）

議長

活動結果報告書

令和2年 11月 30日

越前市議会

議長 三田村 輝士 殿

議員氏名 加藤 吉則



下記のとおり報告します。

日 程 令和 2年 11月 6日(金曜日)～令和 2年 11月 6日(金曜日)

活動先 市内一円

活動目的 シカ用ワイヤーメッシュ設置町内対象アンケート調査のため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

●「シカ用ワイヤーメッシュ設置関連アンケート」実施

- (1) 対象；市内シカ用ワイヤーメッシュ設置町内・団体 11
 (2) 集計数；11件(11月30日現在) • 集計率；81.8%

●質問項目 [別紙アンケート用紙参照]

シカ用ワイヤーメッシュ設置関連アンケート最終集計

*複数回答可 2020.師走 越前市議会議員(奥宮谷町区長) 加藤吉則

Q1. 御町内でのイノシシ・シカによる被害状況は？

- ◎イノシシ；①年々増加 ②横ばい ③減少 ④その他 2(・今年は少ない)
 ◎シカ；①年々増加 9 ②横ばい ③減少 ④その他()

Q2. これまで鳥獣害対策はどのような取組みをされてきましたか？

- ◎イノシシ；①電気柵設置 9 ②ネット柵設置 ③ワイヤーメッシュ柵設置 9 ④
 捕獲檻 5 ⑤特になし ⑥その他()
 ◎シカ；①電気柵設置 2 ②ネット柵設置 2 ③ワイヤーメッシュ柵設置 5 ④
 捕獲檻 1 ⑤特になし ⑥その他 4(・イノシシ用ワイヤーメッ

シユ柵の上へ部分的にひも等張る ・ワナの設置)

Q3. 防護柵設置の効果はどのようにでしょうか？

- ◎イハシ ; ①非常に効果あった 1 ②まあまあ 8 ③あまり効果なかった
④全く効果なかった ⑤その他()
◎シカ ; ①非常に効果あった 1 ②まあまあ 1 ③あまり効果なかった 2
④全く効果なかった 3 ⑤その他 3(・まだ設置していない ・今年
から設置予定)

Q4. 被害軽減の方策・工夫などについてご意見を

- (・ワイヤーメッシュ高さ 250 cmが必要 ・山頂の杉の木をなくしどんぐり
を植樹し広葉樹を多くする ・防護柵の定期的点検 ・被害か所の早期発見
で予防 ・電気柵 6 段張 ・毎日柵の周りを歩くのがよいが、時々しかでき
ていない ・日常点検、まめな草刈等通常の業務等のみ ・電気柵は電圧を
常に計り異常時は原因を探る)

Q5. 今回のシカ用ワイヤーメッシュ設置に伴う資材費は、国が全額補助ですが、
設置に関し人件費の予算化は？ (1人/1日当たり)

- ①予算化はない 1 ②手当予算(～5000 円未満)
③手当予算(5000 円～8000 円)6 ④他 3(・作業手当時給 850 円 ・基本的に
村人足のため予算化なし 数人の場合は 1000 円/時 程度)

Q6. 鳥獣害軽減に向けた課題は何だとお考えですか？

- ①行政側の指導・助言 2 ②行政側の予算支援拡大 4 ③地元での維持管理
の徹底化 7 ④その他()

Q7. 鳥獣害軽減に向けた意見・要望・困り事等ご自由にお書き下さい。

・鳥獣害により環境の悪化(耕作放棄地増加)、人口減少につながる ・平地
と側側面とでは施工方法がちがう ・同じ材料でなく、現場にあったものを設
置すべき ・獣害動物の個体数を最低限に駆除する法の改正を ・捕獲して飼
育舎を作ったらどうか ・公共事業としてイノシシ・シカ対策を ・シカ用ワ
イヤーメッシュの改良要す ・山間部では、高齢化や後継者不足などで対策に
かかる人が少なく、年々難しい ・ある研修で、行政側支援資材の維持管理
が悪いため、被害が出ているとの調査結果を聞き、行政がいくらお金を出して
も適切に使用できないことが、被害拡大の一因ではないか。使用側の意識改革
も必要か

・設置する作業者が高齢化しており、力を使う作業者が限られ、作業全体に支

障が出ることも

●対象数：11 ●回答数：9 ●回答率；81.8%

●まとめに替えて

- ・急なご案内で短期間の調査でしたが、多くの対象区からご返答頂き、ありがとうございました！
- ・特に、記述部は、記入いただいた内容を網羅させていただきました。
被害軽減策・課題などでは、設置後の維持管理方法の工夫や継続的な取り組みが大切だと、改めてご指摘いただきました。
- ・また、鳥獣被害に対するご意見・ご要望・困りごとでは、今回初めてのシカ用柵設置に伴う課題（地形に応じた設置方法、メッシュ柵の改良要望、高齢化による担い手不足など）が浮かび上りました。
- ・さらに、基本的な意識の問題として、地元の方でしっかりと管理していくことの重要性を強調するご意見もありました。
- ・皆さんから寄せられたこれらの貴重なご意見を、12月議会でも紹介し、課題解決に向けて取り組んでまいりたいと思います！

以上

活動結果報告書

令和 2年 11月 30日

越前市議会

議長 三田村 輝士 殿

議員氏名 加藤 吉則



下記のとおり報告します。

日 程 令和 2年 11月 13日(金曜日)～令和 2年 11月 13日(金曜日)

活動先 市内一円

活動目的 クマ出没町内対象アンケート調査のため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

●「クマ出没町内対象アンケート」実施

(1) 対象；クマ出没町内 53

(2) 集計数；45件(11月30日現在) • 集計率；84.9%

●質問項目 [別紙アンケート用紙参照]

クマ出没関連アンケート最終集計

*複数回答可 2020.師走 市会議員(奥宮谷町区長) 加藤吉則

Q 1. 御町内での今年のクマによる被害状況は？

- ①目撃(あり 39・なし 13) ②痕跡(あり 33・なし 11) ③人身被害(あり 1・なし 44) ④その他 2 (・工場内の侵入・柿、栗の枝が数か所折られていた・例年になく出没目撃回数が多い)

Q 2. 御町内での昨年のクマによる被害状況は？

- ①目撃(あり 11・なし 20) ②痕跡(あり 12・なし 31) ③人身被害(あり 0・なし 45) ④その他 1 (・イノシシ防護メッシュ柵上部破壊)

Q 3. 御町のクマ出没への対応・対処策はどのようでしょうか？

- ①市・警察等へ通報 35 ②町民に注意案内配布 31 ③市から広報車

巡回 15 ④注意喚起ポスター張り出し 11 ⑤捕獲檻設置 17 ⑥子どもの見守り 7 ⑦柿の木伐採 16 ⑧その他 7 (・区民に電話で全戸緊急連絡+回覧 ・柿の木の確認済み ・区の広報車巡回 ロケット花火 ・実のなるものを撤去する ・不要なクリの木伐採 ・ラインにて各戸連絡 ・柿の実をとる)

Q 4. 市の対応・対処（檻設置・広報車巡回など）についてご意見を。

(・痕跡のあった場合でも広報車巡回を ・檻設置は至急してもらったが、広報車巡回は聞こえてこない 細やかな巡回を ・広報車の巡回が不十分聞こえない 時間帯に不在 ・頻繁に出没する町に檻の設置を ・檻設置をしてあったが、よそで使いたいと担当者に言われたが断った 檻が足りないのではないか ・クマの痕跡発見時に担当課に通報・相談 対応は適切 ・すぐに駆け付けるものの捕獲には至らない ・檻を設置して駆除する ・早く対処してもらい感謝 ・迅速に行われた ・休日でも対応してくれた 具体的指導があれば ・対応は早いと思う ・通報→警察巡回されており問題はない ・基本的に市は対応対処してくれている ・広報車の早期巡回と警察の監視を ・イノシシ檻に入り出していくことがあり、イノシシ檻でクマも捕獲するよう変更する ・巡回等不十分 ・2回目の目撃情報の際、迅速十分な対応をしてもらい感謝している
・新しい檻の増設 現在の数では少なすぎる ・市と警察との連携が悪いようだ)

Q 5. クマ被害軽減に向けた課題は何だとお考えでしょうか？

①行政側の指導・助言 7 ②行政側の予算支援拡大 9 ③地元での注意喚起の徹底化 10 ④森林管理強化 22 ⑤その他 3(・生態について官学で研究を イノシシ柵のパトロール実施も非常に危険 ・なぜ対行政しか考えないのか もっと市民自らの課題があるのではないか)

Q 6. クマ被害軽減に向けたご要望・困り事等ご自由にお書きください。

・注意案内配布と柿の木伐採だけで十分なのか 人的被害が起きるまで何もできないのか ・村が過疎化 ・柿の木（大きい木）伐採はなかなかできない 無償でお願いしたい ・他市町では小動物の駆除の補助費がでている当市でもお願いしたい ・サギの糞で困っている ・駆除してほしい ・人的被害が出てからでは遅い ウォーキングや犬の散歩、ゴミ出し等夜間に外出する人がいる 広報・パトロールを強化してほしい ・捕獲したクマは山にもっていかず処分した方がよい ・山にエサを撒く ・イノシシ柵や檻の

パトロールを継続してもよいか迷っている ・片っ端から処分してほしい
・クマ目撃後柿の実の早期収穫を区民にお願いしたが一人協力を得られ
なかつた 人身被害の可能性もあるので対応策を検討してほしい ・目撃し
てから檻設置までの時間が経ちすぎ 檻を増やしてほしい 隣の集落で出
没していても両隣には広報車なし そのうちに転々と歩くので全地区上げ
て広報車を巡回すべき ・子どもたちの通学の安全確保（見守り隊等）
鳥獣保護法を改正してある程度駆除した方がよいかも ・捕獲用の檻が足り
ない ・柿の木伐採というだけ 老人宅ではできない 費用が掛かる 誰が
するという具体的案がない 町内に言って来るだけではダメ ・森林に戻す
だけでは対応にならない ・ワイヤーメッシュ設置要望中 ・今年は柿の実
が少なかったので、山側の柿の実は全部採ってもらった 豊作の場合は採り
切れない場合が多い ・堅牢な金網の設置は素人では無理で、行政側の予算
拡大してもらえると助かる ・市民の問題意識の希薄 ・クマ出没情報の早
急な伝達が必要 ・柿の木伐採はわかっていてもなかなか進まない 代行し
伐採する支援が必要 ・出没場所の近くに小学校やこども園、児童館、公民
館などがあり非常に不安 ・捕獲と処分をもっと多くしてほしい

Q 7. 鳥獣被害一般の軽減に向けたご意見・ご要望・困り事等、ご自由に
お書きください。

・捕獲檻の増設等予算を増やしてほしい ・村が過疎化で人がいない
・サルを山へ追い込んでもまた出てくるので駆除してほしい ・次年度に向
けて丹南 CATV の緊急連絡メールを活用していきたい ・年間 30 頭弱イノ
シシが捕獲できたが、本年は 1 頭の実績の 豚コレラの影響と判断してい
る ・はぐれの雄ザルが時々村中に出没 数か月サル檻を設置したがから
ず、何とかしてほしい あまりにも大きいので恐怖を感じる イノシシはコ
レラの影響で減った もっと減ればよい ワクチン餌を与えるのはやめて
ほしい ・ハクビシンやアライグマ等の被害も発生している 個体数を減ら
す方法・手続きの簡素化と規模の拡大が必要だ ・クマ捕獲檻をもっと増や
してほしい ・サルの被害は年々増加傾向にあり、花火等は効き目がない今
何らかの撃退方法を考えてほしい ・例年山に実のなるものが不作で里に下
りてきて、柿とか栗を求めてくるので電気柵やワイヤーメッシュで囲いをす
る。 山に実のなるものを植える ・With bear の生き方を考えていく必要
がある ・里に出てくるのは困る 山でそれなりに生活できるよう餌となる
木の植樹等を推進してほしい ・近頃頻繁に人里に出没する原因をつぶす対
策の必要あり 柿・栗の伐採はその次 大事に育てた木を切れとはいかがな

ものか ・山の状況が昔とは変わってしまったことが原因だと思う 私たちの生活も変わってしまったことが根本的な理由だと思う ・山に駆除用の薬を撒くことはできないか イノシシやクマの出没が多いとき町民に知らせて撒く ・シカ・イノシシ等獣害動物はエサで数を減らせないか ・電気柵で金網を設置しているが、壊されて侵入される時がある ・奥森林へ餌となる木の実がなる植樹を増やすなど対応したらどうか ・獣害は国の林業政策の誤りの一つ 市町議会では限界がある 時間はかかるが市民の意識を変え国全体で取り組むような活動に期待している ・サル対策としてドローンによる追い払いはできないか ・イノシシの捕獲は今年少なくなった ・近くに不使用の豚舎があり、イノシシやクマなどが住み着かないか不安 ・イノシシやシカの被害が多い そば 3ha ほど被害にあった 何とかならないものか 稲も 2 反ほどイノシシに被害を受けた ・ロケット花火ではダメ 有効な撃退方法（エアガン等）の無償配布 または一部助成（一集落 2~3 台は必要） ・毎年区長等役員が変わり、新たにイノシシ柵などするため、段取りが悪い

●対象数；53 ●回答数；45 ●回答率；84.9%

●まとめに替えて

- ・急なご案内で短期間の調査でしたが、多くの対象区からご返答頂き、ありがとうございました！
- ・「市の対応・対処について」では、広報車巡回の課題、柵の増設希望、法的な課題などの指摘が多く寄せられました、その中でも、市の迅速な対応の評価もありました。
- ・また、「クマ被害軽減に向けたご要望・困りごと」では、捕獲より駆除を求める声（法的改正含む）が多くありました。捕獲柵の早期増設を求めるご要望は多く寄せられました。柿の木伐採・実の処分では基本的に同意も、それで決定打になるのかの疑問も。また、伐採などの作業ができない世帯への助成求める声も。とにかく、他の動物と違い、出没による危険性・恐怖感を高められている状況があります。
- ・さらに、「鳥獣被害一般の軽減に向けたご意見・ご要望・困り事等」では、上記と同様の捕獲柵関連予算の増加を求める声、個体数を減らすことの必要性、撃退方法で花火の効用への疑問・エアガンの活用の提案、柿の木伐採への躊躇、これまでの林業政策への疑問、ドローンを駆使した方策、区役員の任期の問題など多々見られました。なお、
今後の基本的な考え方として、クマなど野生動物との共生を考え、実のなる

木の植樹をというご意見もいただきました。

- ・皆さんから寄せられたこれらの貴重なご意見を、12月議会でも紹介し、課題解決に向けて取り組んでまいりたいと思います！
-
-
-